

しらやま ちく のこ かやぶき やね こみんか
 白山地区に残る茅葺屋根の古民家

所在地：淡路市 白山



「田植えの頃」南あわじ市 井上淳一氏撮影
 (第2回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品)



田園と茅葺屋根の古民家



古民家の土塀

白山地区の小さな峠を越えた盆地状の地形に、淡路島では珍しくなった茅葺屋根の古民家が今も残っています。

古民家周辺の土地利用は、紀伊水道に位置し台風の影響を受けやすい淡路島において、四方を山に囲まれた環境を活かして風を避けるとともに、家の周りに川を回し水の利便を浴するなど、地の利が十分に活かされています。茅葺民家の建築年代は、阪神・淡路大震災の復旧工事の際に発見した天井板の墨書きから、天保頃から立て始められたと想定されています。

白山地区の古民家とその周辺は、淡路島の山間地域の昔ながらの景観を残す貴重な事例です。

- 【景観の特徴】
- 自然が作りだす景観
 - 歴史が作りだす景観
 - ✓ 生活・文化が作りだす景観
 - 新しく作りだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道東浦ICから、県道460号線を通り、浦川沿いを西へ。車で約15分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図